

『令和5年10月16日開催』

企業会計決算審査特別委員会  
委員長報告

【令和5年12月定例会】

委員長 青山聖子

先ほど議長から報告がございましたとおり、委員長に不肖私が、副委員長に最上祐次委員がそれぞれ互選されておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、去る9月定例会において当委員会に審査を付託され、閉会中の継続審査となっております議案第98号「令和4年度川口市水道事業会計決算認定について」、議案第99号「令和4年度川口市下水道事業会計決算認定について」及び議案第100号「令和4年度川口市病院事業会計決算認定について」の以上3議案につきまして、10月16日に委員会を開催し、慎重に審査いたしましたので、以下、その審査概要と結果を審査順序に従いご報告申し上げます。

初めに、「病院事業会計決算」を議題といたしましたところ、新型コロナウイルス感染症の影響による一般診療の経常損失額について、当年度純利益又は当年度純損失の5年間の推移について、未収金回収業務委託の実績について等、質疑応答の後、採決の結果、起立者全員で認定することに決しました。

続きまして、「水道事業会計決算」を議題といたしましたところ、水道管の経年化率及び耐震化率について、他会計補助金にかかわり、水道料金が減免となる子育て世帯の対象者数について、配水及び給水費にかかわり、有収率を向上させるための漏水対策について等、質疑応答の後、討論へと移行し、まず、新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰により、市民生活が大変であるなか、低所得の子育て世帯に対する水道料金の減免を令和4年9月末で終了したことは、市民生活を顧みておらず、加えて市民生活に必須となる水道料金に消費税が転嫁されていることから、反対するとの意見。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢が不安定となり、資材価格の高騰や労務単価が上昇するなか、約17億4,000万円の利益を出し事業を運営しているほか、水道管の経年化率は全国平均より低く維持できていることや、耐震化率は全国平均より高いことは評価する点である。今後も、市民に安全安心な水道水を提供し、更に住みよいまちづくりに寄与することを期待し、賛成するとの意見がそれぞれ述べられたる後、採決の結果、起立者多数で認定することに決しました。

最後に、「下水道事業会計決算」を議題といたしましたところ、普及促進費にかかわり、私道共同排水設備整備補助金の補助件数について、管渠建設費にかかわり、災害用マンホールトイレの整備状況について、東川口駅周辺浸水対策

事業の進捗状況について等、質疑応答の後、採決の結果、起立者全員で認定することに決しました。

以上で報告を終わります。